

## 情報ビジネス科

## サービス介助

対象	2年次	開講期	通年	区分	選	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	小川芳郎			実務 経験	無	職種					

## 授業概要

高齢な人や障がいのある人とのコミュニケーションのきっかけとなる新たな気づきを学ぶ。車いす操作や視覚障がい体験などサービス介助の基礎からこころのバリアフリーの一歩を理解する。

## 到達目標

超高齢社会・障害者等多様な人が暮らす社会において、すべての人との良好なコミュニケーション関係を築き、困りごとや必要なことに対して、その人、その場に合わせた行動ができるようになる。

## 授業方法

講義を通じて、高齢な人や障がいのある人とのコミュニケーションの取り方、介助方法を実践的に学ぶ。

## 成績評価方法

試験、課題、小テスト等を総合的に評価する。

## 履修上の注意

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。

## 教科書教材

適時、プリントを配布

回数	授業計画
第1回	オリエンテーション（科目の目的・意義について理解できる）
第2回	高齢者への理解（1）（高齢者への応対方法について理解できる）
第3回	高齢者への理解（2）（認知症について理解できる）

## サービス介助

第 4 回	高齢者への理解（3）（疑似体験を通じて白内障について理解できる）
第 5 回	聴覚障がい者への理解（1）（聴覚障がい者への応対方法が理解できる）
第 6 回	聴覚障がい者への理解（2）（疑似体験を通じて聴覚障がい者への応対方法が理解できる）
第 7 回	聴覚障がい者への理解（3）（疑似体験を通じて聴覚障がい者への応対方法が理解できる）
第 8 回	聴覚障がい者への理解（4）（疑似体験を通じて聴覚障がい者への応対方法が理解できる）
第 9 回	車いす利用者への理解（2）（疑似体験を通じて車いす利用について理解できる）
第 10 回	車いす利用者への理解（3）（疑似体験を通じて車いす利用について理解できる）
第 11 回	車いす利用者への理解（4）（疑似体験を通じて車いす利用について理解できる）
第 12 回	視覚障がい者への理解（1）（資格障がい者への応対方法が理解できる）
第 13 回	視覚障がい者への理解（2）（疑似体験を通じて障がい者への応対について理解できる）
第 14 回	視覚障がい者への理解（3）（疑似体験を通じて障がい者への応対について理解できる）
第 15 回	まとめ